

令和6年度 蓮田市水道事業 業務指標 (水道事業ガイドライン：JWWA Q100：2016 に基づく)

目標	分類	区分	指標番号	業務指標名	指標の定義	令和6年度	令和5年度
安全で良質な水	運営管理	水質管理	A101	平均残留塩素濃度 (mg/L)	残留塩素濃度合計÷残留塩素測定回数	1.02	1.23
			A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率 (%)	(最大カビ臭物質濃度÷水質基準値) ×100	10.0	20.0
			A103	総トリハロメタン濃度水質基準比 (%)	(Σ給水栓の総トリハロメタン濃度÷給水栓数) ÷水質基準値×100	49.7	45.2
			A104	有機物 (TOC) 濃度水質基準比 (%)	(Σ給水栓のTOC濃度÷給水栓数) ÷水質基準値×100	35.7	31.0
			A105	重金属濃度水質基準比 (%)	(Σ給水栓の当該重金属濃度÷給水栓数) ÷水質基準値×100	0.0	0.0
			A106	無機物質濃度水質基準比 (%)	(Σ給水栓の当該無機物質濃度÷給水栓数) ÷水質基準値×100	26.8	28.3
			A107	有機化学物質濃度水質基準比 (%)	(Σ給水栓の当該有機化学物質濃度÷給水栓数) ÷水質基準値×100	0.0	0.0
			A108	消毒副生成物濃度水質基準比 (%)	(Σ給水栓の当該消毒副生成物濃度÷給水栓数) ÷水質基準値×100	51.7	45.0
			A109	農薬濃度水質管理目標比 (%)	Max Σ (各農薬濃度÷各農薬の目標値)	0.000	0.000
		施設管理	A201	原水水質監視度 (項目)	原水水質監視項目数	43	43
			A202	給水栓水質検査箇所密度 (箇所/100km ²)	給水栓水質検査採水箇所数÷(給水区域面積÷100)	47.7	47.7
			A203	配水池清掃実施率 (%)	(最近5年間に清掃した配水池容量÷配水池総容量) ×100	32.0	8.0
			A204	直結給水率 (%)	(直結給水件数÷給水件数) ×100	92.2	91.4
			A205	貯水槽水道指導率 (%)	(貯水槽水道指導件数÷貯水槽水道総数) ×100	0.0	0.0
		事故災害対策	A301	水源の水質事故数 (件)	年間水源水質事故件数	0	0
			A302	粉末活性炭処理比 (%)	(粉末活性炭年間処理水量÷年間浄水量) ×100	0.0	0.0
	施設整備	施設更新	A401	鉛製給水管率 (%)	(鉛製給水管使用件数÷給水件数) ×100	0.0	0.0
安定した水の供給	運営管理	施設管理	B101	自己保有水源率 (%)	(自己保有水源水量÷全水源水量) ×100	42.7	42.7
			B102	取水量 1 m ³ 当り水源保全投資額 (円/m ³)	水源保全に投資した費用÷年間取水量	0.00	0.00
			B103	地下水率 (%)	(地下水揚水量÷年間取水量) ×100	11.5	10.3
			B104	施設利用率 (%)	(1日平均配水量÷1日配水能力) ×100	59.1	58.3
			B105	施設最大稼働率 (%)	(1日最大配水量÷1日配水能力) ×100	63.8	61.8
			B106	負荷率 (%)	(1日平均配水量÷1日最大配水量) ×100	92.6	94.4
			B107	配水管延長密度 (km/km ²)	配水管延長÷給水区域面積	10.3	10.3
			B108	管路点検率 (%)	(点検した管路延長÷管路総延長) ×100	29.0	0.0
			B109	バルブ点検率 (%)	点検したバルブ数÷バルブ設置数	0.0	0.0

目標	分類	区分	指標番号	業務指標名	指標の定義	令和6年度	令和5年度
安定した水の供給	運営管理	施設管理	B110	漏水率（％）	$(\text{年間漏水量} \div \text{年間配水量}) \times 100$	14.6	13.4
			B111	有効率（％）	$(\text{年間有効水量} \div \text{年間配水量}) \times 100$	85.4	86.5
			B112	有収率（％）	$(\text{年間有収水量} \div \text{年間配水量}) \times 100$	82.9	84.1
			B113	配水池貯留能力（日）	$\text{配水池有効容量} \div \text{1日平均配水量}$	1.04	1.05
			B114	給水人口1人当たり配水量（L／日・人）	$(\text{1日平均配水量} \times 1,000) \div \text{給水人口}$	320	315
			B115	給水制限数（日）	年間給水制限日数	0	0
			B116	普及率（％）	$(\text{給水人口} \div \text{給水区域内人口}) \times 100$	99.8	99.8
			B117	設備点検実施率（％）	$(\text{点検機器数} \div \text{機械・電気・計装機器の合計数}) \times 100$	60.4	60.4
		事故災害対策	B201	浄水場事故割合（件／10年・箇所）	$10\text{年間の浄水場停止事故件数} \div \text{浄水場総数}$	0.00	0.00
			B202	事故時断水人口率（％）	$(\text{事故時断水人口} \div \text{給水人口}) \times 100$	90.1	90.1
			B203	給水人口1人当たり貯留飲料水量（L／人）	$[(\text{配水池有効容量} \times 1/2 + \text{緊急貯水槽容量}) \times 1000] \div \text{給水人口}$	166	166
			B204	管路の事故割合（件／100km）	$\text{管路の事故件数} \div (\text{管路総延長} \div 100)$	2.8	2.1
			B205	基幹管路の事故割合（件/100km）	$\text{基幹管路の事故件数} \div (\text{基幹管路延長} \div 100)$	0.0	0.0
			B206	鉄製管路の事故割合（件／100km）	$\text{鉄製管路の事故件数} \div (\text{鉄製管路総延長} \div 100)$	2.1	2.8
			B207	非鉄製管路の事故割合（件／100km）	$\text{非鉄製管路の事故件数} \div (\text{非鉄製管路総延長} \div 100)$	2.0	1.3
			B208	給水管の事故割合（件／1,000件）	$\text{給水管の事故件数} \div (\text{給水件数} \div 1000)$	6.6	6.8
			B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間（時間）	$\Sigma (\text{断水・濁水時間} \times \text{断水・濁水区域給水人口}) \div \text{給水人口}$	0.00	0.00
			B210	災害対策訓練実施回数（回/年）	年間の災害対策訓練実施回数	1	1
			B211	消火栓設置密度（基／km）	$\text{消火栓数} \div \text{配水管延長}$	2.3	2.3
		環境対策	B301	配水量1m³当たり電力消費量（kWh／m³）	$\text{総電力量} \div \text{年間配水量}$	0.28	0.27
			B302	配水量1m³当たり消費エネルギー（MJ／m³）	$\text{全施設での総エネルギー消費量} \div \text{年間配水量}$	2.84	2.73
			B303	配水量1m³当たり二酸化炭素排出量（g・CO2／m³）	$(\text{総二酸化炭素排出量} \div \text{年間配水量}) \times 1,000,000$	91	87
			B304	再生可能エネルギー利用率（％）	$(\text{再生可能エネルギー設備の電力使用量} \div \text{全施設の電力使用量}) \times 100$	0.00	0.00
			B305	浄水発生土の有効利用率（％）	$(\text{有効利用土量} \div \text{浄水発生土量}) \times 100$	0.0	0.0
			B306	建設副産物のリサイクル率（％）	$(\text{リサイクルされた建設副産物量} \div \text{建設副産物発生量}) \times 100$	40.6	28.4

目標	分類	区分	指標番号	業 務 指 標 名	指 標 の 定 義	令和 6 年度	令和 5 年度
安定した水の供給	施設整備	施設管理	B401	ダクタイル铸铁管・鋼管率（％）	$[(ダクタイル铸铁管延長+鋼管延長) \div 管路総延長] \times 100$	46.2	46.2
			B402	管路の新設率（％）	$(新設管路延長 \div 管路総延長) \times 100$	0.00	0.00
			B501	法定耐用年数超過浄水施設率（％）	$(法定耐用年数を超えた浄水施設能力 \div 全浄水施設能力) \times 100$	0.0	0.0
			B502	法定耐用年数超過設備率（％）	$(法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備数 \div 機械・電気・計装設備の総数) \times 100$	81.0	77.6
			B503	法定耐用年数超過管路率（％）	$(法定耐用年数を超えた管路延長 \div 管路総延長) \times 100$	54.8	52.8
			B504	管路の更新率（％）	$(更新された管路延長 \div 管路総延長) \times 100$	0.36	0.37
			B505	管路の更生率（％）	$(更正された管路延長 \div 管路総延長) \times 100$	0.000	0.000
		事故災害対策	B601	系統間の原水融通率（％）	$(原水融通能力 \div 全浄水施設能力) \times 100$	0.0	0.0
			B602	浄水施設耐震率（％）	$(耐震対策の施されている浄水施設能力 \div 全浄水施設能力) \times 100$	0.0	0.0
			B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率（％）	$[(沈でん・ろ過を有する施設の耐震化浄水能力+ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力) \div 全浄水施設能力] \times 100$	0.0	0.0
			B603	ポンプ所耐震施設率（％）	$(耐震対策の施されているポンプ所能力 \div 全ポンプ所能力) \times 100$	33.6	33.6
			B604	配水池耐震施設率（％）	$(耐震対策の施されている配水池有効容量 \div 配水池有効容量) \times 100$	100.0	100.0
			B605	管路耐震管率（％）	$(耐震管延長 \div 管路総延長) \times 100$	6.0	5.6
			B606	基幹管路耐震管率（％）	$(基幹管路のうち耐震管延長 \div 基幹管路総延長) \times 100$	36.0	35.5
			B606-2	基幹管路耐震管適合率（％）	$(基幹管路のうち耐震適合性管路延長 \div 基幹管路総延長) \times 100$	44.2	43.6
			B607	重要給水管施設配水管路耐震管率（％）	$(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長 \div 重要給水施設配水管路総延長) \times 100$	12.8	11.0
			B607-2	重要給水管施設配水管路耐震管適合率（％）	$(重要給水施設配水管路のうち耐震適合性管延長 \div 重要給水施設配水管路総延長) \times 100$	45.0	43.0
			B608	停電時配水量確保率（％）	$(全施設停電時に確保できる配水能力 \div 1日平均配水量) \times 100$	210.0	210.0
			B609	薬品備蓄日数（日）	平均薬品貯蔵量 $\div$ 1日平均使用量	10.5	13.8
			B610	燃料備蓄日数（日）	平均燃料貯蔵量 $\div$ 1日使用量	0.3	0.3
			B611	応急給水施設密度（箇所／100km ² ）	応急給水施設数 $\div$ （給水区域面積 $\div$ 100）	0.0	0.0
			B612	給水車保有度（台／1,000人）	給水車数 $\div$ （給水人口 $\div$ 1,000）	0.020	0.020
			B613	車載用の給水タンク保有度（台／1,000人）	車載用給水タンク総容量 $\div$ （給水人口 $\div$ 1,000）	0.052	0.051
	財 務	健全経営	C101	営業収支比率（％）	$[(営業収益-受託工事収益) \div (営業費用-受託工事収益)] \times 100$	96.6	86.8
			C102	経常収支比率（％）	$[(営業収益+営業外収益) \div (営業費用+営業外費用)] \times 100$	106.0	105.4
			C103	総収支比率（％）	$(総収益 \div 総費用) \times 100$	106.0	105.4
			C104	累積欠損金比率（％）	$[累積欠損金 \div (営業収益-受託工事収益)] \times 100$	0.0	0.0
			C105	繰入金比率（収益的収支分）（％）	$(損益勘定繰入金 \div 収益的收入) \times 100$	0.1	0.1
			C106	繰入金比率（資本的収入分）（％）	$(資本勘定繰入金 \div 資本的收入) \times 100$	1.5	1.9
			C107	職員1人当たり給水収益（千円／人）	$(給水収益 \div 損益勘定所属職員数) \div 1000$	209,547	156,361

目標	分類	区分	指標番号	業 務 指 標 名	指 標 の 定 義	令和 6 年度	令和 5 年度
健全な事業経営	財 務	健全経営	C108	給水収益に対する職員給与費の割合（％）	$(\text{職員給与費} \div \text{給水収益}) \times 100$	4. 8	5. 6
			C109	給水収益に対する企業債利息の割合（％）	$(\text{企業債利息} \div \text{給水収益}) \times 100$	0. 6	0. 8
			C110	給水収益に対する減価償却費の割合（％）	$(\text{減価償却費} \div \text{給水収益}) \times 100$	28. 0	31. 2
			C111	給水収益に対する企業債償還元金の割合（％）	$(\text{企業債償還元金} \div \text{給水収益}) \times 100$	9. 8	10. 2
			C112	給水収益に対する企業債残高の割合（％）	$(\text{企業債残高} \div \text{給水収益}) \times 100$	68. 1	78. 3
			C113	料金回収率（％）	$(\text{供給単価} \div \text{給水原価}) \times 100$	96. 1	86. 2
			C114	供給単価（円／m ³ ）	給水収益÷年間総有収水量	177. 4	158. 4
			C115	給水原価（円／m ³ ）	$[(\text{経常費用}- (\text{受託工事費}+\text{附帯事業費}+\text{不用品売却原価}+\text{長期前受金戻入})) \div \text{有収水量}]$	184. 6	183. 7
			C116	1箇月当たり家庭用料金（10m ³ ）（円）	1箇月10m ³ 当たりの一般家庭用（口径13mm）料金（税込）	1, 336	1, 336
			C117	1箇月当たり家庭用料金（20m ³ ）（円）	1箇月20m ³ 当たりの一般家庭用（口径13mm）料金（税込）	3, 206	3, 206
			C118	流動比率（％）	$(\text{流動資産} \div \text{流動負債}) \times 100$	462. 2	413. 5
			C119	自己資本構成比率（％）	$[(\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{繰延収益}) \div (\text{負債}+\text{資本合計})] \times 100$	87. 4	85. 9
			C120	固定比率（％）	$[\text{固定資産} \div (\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{繰延収益})] \times 100$	90. 5	88. 5
			C121	企業債償還元金対減価償却費比率（％）	$(\text{企業債償還元金} \div \text{当年度減価償却費}) \times 100$	35. 0	32. 7
			C122	固定資産回転率（回）	$(\text{営業収益}-\text{受託工事収益}) \div [(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産}) \div 2]$	0. 18	0. 16
			C123	固定資産使用効率（m ³ ／10, 000円）	$(\text{配水量} \div \text{有形固定資産}) \times 10, 000$	11. 2	11. 5
			C124	職員 1 人当たり有収水量（m ³ ／人）	年間総有収水量÷損益勘定所属職員数	1, 182, 000	988, 000
			C125	料金請求誤り割合（件／1, 000件）	誤料金請求件数÷（料金請求総件数÷1, 000）	0. 00	0. 00
			C126	料金収納率（％）	$(\text{総料金収入額} \div \text{総調定額}) \times 100$	97. 9	99. 8
			C127	給水停止割合（件／1, 000件）	給水停止件数÷（給水件数÷1, 000）	10. 1	10. 4
	お客様とのコミュニケーション	人材育成	C201	職員資格取得度（件／人）	職員が取得している法定資格数÷全職員数	0. 40	0. 36
			C202	外部研修時間（時間／人）	$(\text{職員が外部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) \div \text{全職員数}$	5. 8	5. 2
			C203	内部研修時間（時間／人）	$(\text{職員が内部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) \div \text{全職員数}$	2. 7	18. 5
			C204	技術職員率（％）	$(\text{技術職員総数} \div \text{全職員数}) \times 100$	50. 0	45. 5
			C205	水道業務経験年数度（年／人）	全職員の水道業務経験年数÷全職員数	5. 0	4. 5
			C206	国際協力派遣者数（人・日）	$\Sigma (\text{国際協力派遣者数} \times \text{滞在週数})$	0	0
			C207	国際協力受入者数（人・日）	$\Sigma (\text{国際協力受入者数} \times \text{滞在日数})$	0	0

目標	分類	区分	指標番号	業務指標名	指標の定義	令和6年度	令和5年度
健全な事業経営	お客様とのコミュニケーション	業務委託	C301	検針委託率（％）	$(\text{委託した水道メーター数} \div \text{水道メーター設置数}) \times 100$	100.0	100.0
			C302	浄水場第三者委託率（％）	$(\text{第三者委託した浄水場能力} \div \text{全浄水場能力}) \times 100$	0.0	0.0
		情報提供	C401	水道事業に係わる情報の提供度（部／件）	広報誌配布部数÷給水件数	0.0	0.0
			C402	インターネットによる情報の提供度□回／件）	ホームページ（HP）への掲載回数	14	19
			C403	水道施設見学者割合（人／1,000人）	水道施設見学者数÷（給水人口÷1,000）	1.2	1.4
		意見収集	C501	モニタの割合（人／1,000人）	モニタ人数÷（給水人口÷1,000）	0.000	0.000
			C502	アンケート情報収集割合（人／1,000人）	アンケート回答人数÷（給水人口÷1,000）	0.00	0.00
			C503	直接飲用率（％）	$(\text{直接飲用回答数} \div \text{アンケート回答総数}) \times 100$	0.0	0.0
			C504	水道サービスに対する苦情割合（件／1,000件）	水道サービス苦情件数÷（給水件数÷1,000）	0.82	0.54
			C505	水質に対する苦情割合（件／1,000件）	水質苦情件数÷（給水件数÷1000）	0.75	0.40
			C506	水道料金に対する苦情割合（件／1,000件）	水道料金苦情件数÷（給水件数÷1,000）	0.00	0.11